

# 金沢

修学旅行  
体験学習  
ガイドブック

KANAZAWA  
School Excursion Guide



金沢市  
金沢市観光協会

# ごあいさつ

金沢市長 山出 保



金沢は藩政時代、加賀百万石の城下町として栄えました。金沢の誇るべき資源は、藩政時代の武家文化に端を発する歴史や伝統文化であり、戦災に遭わなかったことで、当時のまちなみや歴史的建造物が今もなお、まちなかに息づいており、伝統に裏打ちされた格調高い文化が香るまちとして、多くの方々にお越しいただいています。

現在、全国から金沢までの交通インフラの整備が進んでいます。東海北陸自動車道が平成20年夏に全線開通する見込みであり、遅くとも平成26年度末までに北陸新幹線が金沢まで開業いたします。

このような中で、全国の生徒の皆さんに金沢の歴史や伝統文化に触れていただけるよう、「金沢～修学旅行体験学習ガイドブック～」を作成いたしました。

このガイドブックでは、金箔や加賀友禅などの伝統工芸体験、能や茶の湯などの伝統文化体験、和菓子などの食文化体験、歴史・文学・まちなみ散策をしながら自ら学ぶ体験など、金沢ならではの様々な奥深い体験ができる施設や資源を紹介しています。

また、金沢は歴史や伝統文化だけでなく、金沢21世紀美術館やオーケストラ・アンサンブル金沢、ファッション産業都市宣言、そして全国に先がけての旧町名復活運動など、新しい文化の創造による活気あるまちづくりも進めています。

金沢では、生徒の皆さんが、それぞれの興味に沿った幅広い体験学習が可能であり、貴重な「体験」を得ることができると考え、金沢への修学旅行が青春のすばらしい1ページとして皆さんの思い出に残るよう願っております。

# 目次

Contents

ごあいさつ 金沢市長 山出 保

もくじ 体験・見学データの見方

## 4 金沢を愉しむ

歴史

伝統工芸

文学

食文化

9 まち歩きモデルコース

10 伝統工芸に親しむ

16 食文化を楽しむ

20 歴史・文化・芸術に触れる

32 寺社を巡る

34 キャンパスに学ぶ

35 金沢エリアマップ

中心部

北部、金沢駅周辺、西部、大野・金石  
東山・卯辰山方面、野田山・湯涌

40 宿泊一覧

41 宿泊エリアマップ

42 交通アクセス

43 移動手段・観光ガイド

44 索引

45 緊急連絡先一覧

## 体験・見学データの見方



体験が可能な施設を  
表します。



見学が可能な施設を  
表します。



体験・見学所要時間



入館料・入場料



体験・見学可能人数



開館時間



体験料金



定休日



お申し込み方法



駐車場



交通アクセス



車イス対応



備考

体験または見学に関する情報です。  
体験・見学ともに可能な施設については、  
体験の情報となります。

### [ 体験学習について ]

- 予約 予約が必要な場合は、学校名、氏名、体験希望日時、人数などをきちんと相手に伝えましょう。予約を受けた施設側は、皆さんが楽しく体験学習ができるよう準備を整えています。予約後のキャンセルは、訪問先に迷惑をかけることにもなります。なるべくしないよう心掛けましょう。
- 当日 あらかじめ場所や交通アクセスを確認し、体験学習の時間に遅れないようにしましょう。渋滞や事故など想定外の事態も考慮して、余裕をもったスケジュールを立ててください。

### [ 冊子の使い方について ]

- 表記されている人数、受け入れ時間、体験にかかる時間、定休日などは、基本的な情報です。これ以外の条件については各施設にご相談ください。
- 体験では、汚れてもよい服装、動きやすい服装で参加した方がよいもの、エプロン、タオルなどを持参した方がよいものがあります。事前に確認をしておきましょう。
- 中には、当日作品を持ち帰れない施設があります。後日送付されるときには、体験料金とは別に送料が必要になる場合がありますので注意してください。
- 本冊子に掲載されている情報は2008年3月現在のものです。内容が変わっている場合がありますので、事前に必ずご確認ください。
- 本冊子掲載施設は中学生・高校生の修学旅行生を対象としていますが、施設によっては高校生以上を対象としています。

百万石の城下町、金沢。

藩政期には、江戸、大坂、京都に次ぐ規模のまちでした。

戦災を逃れたことで、金沢城や兼六園、情緒あるまちなみが残り、武家文化から発した芸能や工芸が人々の暮らしに色濃く根付いています。

金沢の魅力は、歴史と伝統だけではありません。

水準の高いコンサートや演劇が活発に繰り広げられ、金沢21世紀美術館（愛称・まるびい）や、市民芸術村などでは、新しい創造の試みが絶え間なく展開されています。

さらに、周辺の市や町を含めると、大学などの高等教育機関が20近くも立地する「学術都市」でもあり、産業面では、藩政期から続く老舗に加え、世界に通じる独自の技術を持つ企業が集まっています。

また、周遊バスなどの交通機関を利用すれば、ほとんどの観光スポットを効率よく安全に回ることができ、人とひととのふれあいがとても身近に感じられるまちです。

東京や京都のような大都市とは違う、「ふれあい重視」の体験学習を、生徒の皆さんに提供できる素地が豊富にあります。

このように、修学旅行で訪れた生徒が金沢ならではのさまざまな分野を学習し、体験することで、五感を通して心に刻む貴重な機会を持つことができ、『自主性・自立性』とともに、感動する心を養うことができるに違いありません。

まだまだ隠されている金沢の魅力を、生徒たちと一緒に発見してみませんか。

# 百万石の城下町に息づく伝統と創造

金沢は他都市にはみられない体験学習を提供します





鉛瓦や海鼠(なまこ)堀の外観が美しい菱櫓と五十間長屋。金沢城公園のシンボルとして平成13(2001)年に復元された

## 歴史、文化、伝統の薫り漂うまち 金沢を愉しむ

400年以上、戦災に見舞われていない金沢には、そこかしこに古をしのばせる風情が残っています。まちをそぞろ歩きながら、昔と今がゆるやかに交わる金沢を愉しんでみませんか。

### 金沢の歴史

History

江戸時代、加賀藩主前田家によって大きく発展した金沢。都市としての性格を持ち始めるのは16世紀半ば、加賀の国に勢力を伸ばした本願寺が、金沢御堂を建立したことに端を発します。

加賀地方では15世紀後半、蓮如の布教により一向宗(浄土真宗)が

広まり、宗徒たちは団結し、1488(長享2)年、加賀国守護・富樫氏を倒しました。加賀は約100年間、「百姓の持ちたる国」と呼ばれました。金沢御堂周辺には真宗門徒や商工業者が集まって寺内町が形成され、交通、経済の中心地となっていきます。

16世紀後半、織田信長の命を受けた柴田勝家と甥の佐久間盛政が金沢御堂を攻め落とし、一向宗勢力は制圧されます。その後、後に初代藩主となる尾張出身の前田利家にまず能登一国が与えられました。信長の死後、豊臣秀吉が天下

平定に乗り出すと、金沢は利家の支配下に置かれ、1583(天正11)年、利家は金沢城に入城します。こうして城下町金沢の歴史が始まり、以後、版籍奉還が行われるまでの約290年間、前田家は金沢を居城としました。

3代藩主利常の代になると、町の大掛かりな整備が行われます。利常は武士と町民の居住区を分ける「町割り」を進め、上級、中級武士の屋敷が城を取り巻くように配置され、町家は街道筋などに集められました。1631(寛永8)年、「寛永の大火」で金沢が大きな被害を受ける

と、利常は金沢城の補修とともに、防火のため辰巳用水の整備に着手します。この用水は、水位の差を利用して水を高い場所へ引上げる逆サイフォンの原理を使った当時としては画期的な技術でした。

次いで城下町金沢の文化を大きく発展させたのが、5代藩主綱紀です。綱紀は利常の始めた農業政策を完成させるとともに、軍政や行政組織などの諸制度も整えていきます。京の都などから名工を招くなど、工業や美術工芸の発展にも努めました。

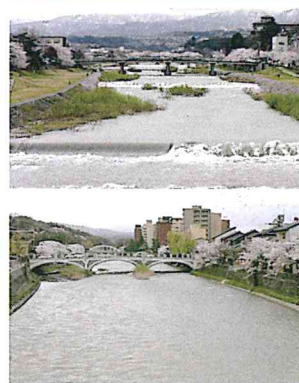
学問好きでもあった綱紀は、和漢洋の様々な書籍の収集・保存なども進め、儒学者新井白石をして「加州は天下の書府なり」と言わしめる文化土壌を作り上げました。兼六園がかたちづくられたのも、綱紀の時代です。12代藩主齊広の時に、曲水を取り入れた回遊式大庭園が造られ、13代齊泰の時代には現在にほぼ近い形が完成しました。

藩政期、町方に武士の人口を加えると、概算で10万人を超える人々が金沢城下に住んでいたと考えられています。これは江戸・大坂・京都に次ぐ4番目の規模でした。戦災を免れたことも幸いし、武家屋敷跡をはじめ茶屋街や寺院群、町家建築や入りくんだ細い路地、用水など、今日見られる町並みは、城下町の歴史の面影を色濃く残しているのです。

金沢市はそうした歴史的なたたずまいの保存・継承に努めています。三茶屋街の一つひがし茶屋街の境界は2001年11月に国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)に指定され、08年7月には同じく茶屋街の一つである主計町が重伝建地区に選定される見通しです。



(上から時計回り) 金沢城公園の上空から望む金沢市内、「おとこ川」の異名を持つ犀川、「おんな川」とも呼ばれる浅野川、土塀の続く長町武家屋敷跡、藩政期のたたずまいを今に伝えるひがし茶屋街、兼六園のシンボルともいえる徹軒灯籠(ことじとうろう)



# 金沢の 伝統工芸

Folkcraft

金沢箔や加賀友禅など、繊細で華麗な金沢の工芸。その多くは、加賀藩の積極的な文化事業によって確立されました。

その拠点の一つが、金沢城内に加賀藩2代藩主利長のころから設けられた「御細工所」です。当初は主に武器や武具を修復していましたが、やがて調度品の制作や修復も行う工芸工房のような組織へと変わっていきます。

また5代藩主綱紀は、工芸全般にわたる資料を整理・分類した「百工比照」を集成しました。このように、加賀藩は工芸文化の振興と発展に努めたのです。

藩は京都から金工や漆芸の名工を呼び、積極的に技術を導入しました。武具に施される金工技術は加賀藩の保護のもとで発展し、実用性と美しさを兼ね備えた加賀象嵌は幕府への献上品にもなりました。

安土桃山時代に文化の中心をなした茶の湯も、金沢の工芸を発展させました。加賀藩では、歴代藩主が著名な茶人たちを招き、茶の湯の普及とともに茶道具を制作する工芸も盛んになっていきます。茶人たちの美意識が、金沢の伝統工芸の礎を築いたのです。人間国宝を輩出した漆芸、茶の湯に用いられる大樋焼や、銅鑼、釜などが代表的です。

加賀藩で武士の鍛練として奨励された釣りから生まれた加賀毛

1万分の1ミリの金箔。  
吐息で吹き飛んでしま  
うほどの薄さ



金箔は全国生産量の99%が金  
沢産である



落ち着きのある写実的な草花模様が美しい加賀友禅



洗練された手業で仕上げられる加賀蒔絵

針、藩御用の紙として発展した二俣和紙なども、城下町金沢の歴史がはぐくんだ工芸です。

金沢には藩政期以前から、梅の樹皮を使った無地の染め物「梅染め」をはじめ、紺染めや茜染めなどの技術がありました。そこに、京都から宮崎友禅斎が華やかな文様を特徴とする友禅の技術を持ち込み、加賀友禅が生まれました。加賀友禅は浅野川や犀川沿いの地域など、町方の工房でその技術が高め

られていきました。

こうした工芸文化を後世に伝えるため、金沢市は「卯辰山工芸工房」「金沢職人大学校」を開設し、後継者の育成に努めています。

# 金沢の 文学

Literature

金沢は、茶の湯や謡、工芸など、藩政時代から培われてきた文化土壌と、独特の気候や地形がはぐくむ情緒が相まって、明治以降、「文学の町」としての一面も持っています。

近代の文学界で活躍した金沢生まれの3人の作家、泉鏡花、徳田秋聲、室生犀星は「金沢の三文豪」と呼ばれています。

鏡花は彫金師の父、鼓師の家の出の母のもとに生まれました。その芸術家の血の流れを継いで、金沢の伝統美を踏まえた華やかで幻想的な世界を描きました。代表作に「義血俠血」や「高野聖」「外科室」などがあります。

秋聲は、人間の真実を描く自然主義を貫きました。尾崎紅葉の門下に入った秋聲は、「微」や「爛」「あらくれ」など女性の生き方をテーマとした作品で知られます。また、帰郷した際に立ち寄った尾張町のダンスホールの様子を描いた「町の踊り場」も、高い評価を受けています。

犀星は、不遇な幼少期を過ごした体験から母親に対する複雑な思いを抱き続ける一方で、詩に小説にと精力的に筆をふるいました。詩集「愛の詩集」「抒情小曲集」、幼少時代や放浪時代をもとに描いた自伝的小説「幼年時代」「性に目覚める頃」などで世間の注目を集めます。

金沢にあった旧制第四高等学校からも多くの作家が羽ばたきました。地元出身の杉森久英、戸部新十郎をはじめ中野重治、井上靖らです。中野、井上は作品の中で学生時代を過ごした金沢を描いてい

ます。地方自治体による文学賞の先駆けとなる「泉鏡花文学賞」創設に関わった五木寛之も、夫人の郷里である金沢で過ごした時期があり、「朱鷺の墓」「ステッセルのピアノ」など金沢を舞台にした作品を執筆し、歌謡曲「金沢望郷歌」の作詞もしています。

近年では、金沢出身の女性作家・唯川恵が「肩越しの恋人」で直木賞を受賞しました。金沢で10年間OL生活を送った唯川にも、故郷を舞台にした作品が数多くあります。



石川門から大手堀方向へ続く白鳥路に立つ金沢の三文豪の像



旧制第四高等学校の校舎を利用した石川四高記念文化交流館前に立つ四高記念碑

# 金沢の 食文化

Food Culture

日本海をはじめ、山や川など美しい自然に囲まれた金沢。四季折々の豊かな食材によって、金沢では独特の食文化が育まれてきました。

地元の新鮮な海の幸、山の幸、川の幸を生かして生み出されたのが「加賀料理」です。「かぶら寿し」や「治部煮」をはじめ、「鯛の唐蒸し」「はす蒸し」「ゴリ料理」などに代表されます。加賀料理という一見、高級なイメージがありますが、本来は旬の食材をおいしく食べるために工夫された庶民的な料理です。秋から冬にかけて旬を迎えるカブに、鱈の切り身を挟んで麴漬けにした「かぶら寿し」は、今も冬の食卓の定番品として市民に親しまれています。

金沢の冬を代表する味覚といえは「加能ガニ」。金沢港をはじめ石川県内で水揚げされた県産ズワイガ

ニを「越前ガニ」「松葉ガニ」に並ぶブランドに、との願いを込めて命名されました。市場で見分ける際には青色のタグが目印になります。

こうした自然の食材を生かした金沢の料理には、味わいを引き立てる野菜の存在が欠かせません。京都の京野菜のように、金沢にも独自の野菜があります。これら昭和20年以前から栽培され続けている野菜15品目が現在、「加賀野菜」として認定されています。味が自慢のサツマイモや加賀れんこん、色鮮やかな金時草や打木赤皮甘栗かぼちゃをはじめ、源助大根や金沢一本太ねぎなど、季節感あふれ滋味豊かな野菜がそろっています。

また、藩政期から前田家の庇護の下で茶の湯文化が栄えた金沢は、全国屈指の和菓子処でもあります。藩主から町民に至るまで茶の湯をたしなんだことから多くの菓子が生まれ、季節や年中行事を彩ってきました。

金沢の食文化は、豊かな食材と城下町の歴史によって育まれてきたのです。



金沢の冬の味覚の王様「加能ガニ」。赤い甲羅にひときわ映える青色のタグが「石川県産」の証



色とりどりの加賀野菜がずらりと並ぶ市場の店頭



「治部煮(じぶに)」も加賀料理の一つ。小麦粉をまぶした力毛肉や鶏肉を季節の野菜やすだれ麴と一緒に煮る



かぶら寿しは、金沢の冬の食卓に欠かせない郷土料理



# 伝統工芸に親しむ



野田山・湯涌

かなざわゆわくそうさくのもり



MAP  
P39 D-5

## 金沢湯涌創作の森

金沢市北袋町エ36

TEL 076-235-1116 FAX 076-235-1070

http://www.sousaku-mori.gr.jp/index.htm

工芸体験

### 自然の中で創作体験

古民家を改修した工房・研修・宿泊施設です。天然本藍を発酵建てして染める藍工房、草木染めした糸から織り上げる染織工房、オリジナルTシャツ作りが人気のスクリーン工房、大判の銅版画やリトグラフのプレス機を持つ版画工房の4つの工房があり、それぞれ制作体験ができます。施設内には竹のブランコや芝生の広場、自然散策路もあります。



☑60~90分程度 ☑各工房5~30人、計65人 ☑1,000(500)~1,300(650)円※( )は中学生以下の料金 ☑1週間前までに電話、FAXで要予約 ☑上記以外の体験メニューもあります(要相談)

☑無料(工房体験料など別途) ☑10:00~21:00(受付は17:00まで) ☑火曜日(火曜日が祝日の時はその次の平日)、12/29~1/3 ☑大型バス4台、一般車100台 ☑北陸自動車道金沢西、東、森本インターから40分程度 ☑可 ☑24人まで宿泊も可能(有料)



中心部

かなざわうたつやまこうげいこうぼう



MAP  
P37 G-1

## 金沢卯辰山工芸工房

金沢市卯辰町10

TEL 076-251-7286 FAX 076-251-9113

http://www.utatsu-craft.gr.jp

工芸体験

### 伝統工芸の継承発展の拠点

金沢市の伝統工芸の継承発展を図るため、市制100周年を記念して建てられた工芸の総合的施設です。金沢ゆかりの工芸作品・資料を展示するほか、技術研修者を育成する陶芸・漆芸・染・金工・ガラスの5つの工房があり、実習風景の見学や体験教室を開講しています。



☑内容による ☑5~20人 ☑内容による ☑2カ月前程度から電話等でメニュー、料金、時間等を打ち合わせ

☑一般300円 65歳以上200円 高校生以下無料 ☑9:00~16:30 ☑火曜日 年末年始 ☑70台 ☑北陸自動車道金沢東インターから15分 ☑可



体験 体験受け入れ

見学 見学受け入れ

☑体験・見学所要時間 ☑体験・見学可能人数  
☑体験料金 ☑お申込み方法  
☑入館料・入場料 ☑開館時間 ☑定休日  
☑駐車場 ☑交通アクセス ☑車イス対応 ☑備考



金沢駅周辺

かなざわしりつやすえきんぱくこうげいかん



MAP  
P38 A-2

## 金沢市立安江金箔工芸館

金沢市北安江1丁目5-10

TEL 076-233-1502 FAX 076-233-1502

<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/kinpaku/>

金箔工芸

### 1万分の1ミリの美の世界

全国生産量の約99%を占める金沢の金箔を紹介する博物館です。金箔ができるまでの工程や製造道具の説明、箔移し作業の実演、美術工芸品の展示を通して、1万分の1ミリの薄さの究極の美の世界に触れられます。



☑15分程度 ☑5~20人程度 ☑展示会の解説をご希望の方は2週間前までに電話・FAXでご連絡下さい

☑一般:300円 65歳以上:200円 団体:250円 高校生以下:無料 (茶菓希望者は100円) ☑9:30~17:00 (入館受付は16:30まで) ☑展示替期間(年4回)、年末年始(12月29日~1月3日) ☑大型バス3台分(または乗用車10台分) ☑JR金沢駅西口から徒歩7分 ☑館内見学の所要時間は30~40分程度



いまいきんぱくいっかいしょっぷ



## 今井金箔 1Fショップ

金箔工芸

金沢市幸町7-3

TEL 076-223-8989 FAX 076-223-1659

<http://www.kinpaku.co.jp/>

中心部  
MAP  
P36 D-5

### 金箔を五感で鑑賞

金箔ができるまでの工程を説明した後、金箔を食べる、すかして見るなど、実際に手で触れることができます。オリジナル作品を作る体験コーナーでは、鼻息に気をつけて。あなたもきっと夢中になります。



☑1時間 ☑30人以下 ☑¥630円~(金箔あめん棒付)  
☑電話で予約状況をご確認下さい

☑無料 ☑9:30~18:00 ☑日・祝 ☑6台 ☑金沢周遊バス「本多町」下車、徒歩10分 北陸鉄道バス(「思案橋」下車後すぐ) ☑可(人数制限あり)



かなざわかたに



## かなざわかたに

金箔工芸

金沢市尾張町2-16-80

TEL 076-231-1566 FAX 076-222-3433

<http://www.k-katani.com/>

中心部  
MAP  
P36 D-2

### 型抜きシールで手軽に金箔貼り

皿や弁当箱などにうさぎ、イルカ、もみじなどの型抜きシールを使って手軽に金箔貼り体験ができます。作品は8種類のラメで加色してアクリルラッカーでコートし、乾燥後にお渡しします。金沢の伝統文化に触れるよい機会です。



☑40~60分 ☑50人以下 ☑¥900~2,500円(学生コース500円有り) ☑1週間前までに電話・FAXで  
☑学生コース対象は中学生以下のグループ、それ以外は一般コースとなります

☑9:00~17:00(体験受付 16:00まで) ☑12/31~1/3  
☑5台 ☑北陸鉄道バス・JRバス「尾張町」下車、徒歩1分  
☑可

	きんぎんはくこうげいさくだ <b>金銀箔工芸さくだ</b>
金箔工芸 東山・卯辰山方面 MAP P39 B-2	金沢市東山1-3-27 TEL 076-251-6777 FAX 076-251-6677 http://www.goldleaf-sakuda.jp
<b>金箔工房を間近に</b>	
<p>金沢の伝統産業「金沢箔」に携わって88年余。巧みな職人技から生み出される金箔を工房で間近に見ることができます。金箔貼りの化粧室もあり、多彩な世界を楽しめます。お箸や小箱などを使った「金箔貼り体験」がおすすめです。</p>	
	
<p>☎60分 料20人以下 料500円～ 事前電話・FAXにてお申し込み下さい。※先着順となりますので、お早めにお申し込み下さい。 対象は小学生以上</p> <p>無料 9:00～18:00 無休 12台 JRバス「東山バス停」下車 徒歩2分 可</p>	

	きんぱくこうげいたじま <b>金箔工芸・田じま</b>
金箔工芸 中心部 MAP P36 C-2	金沢市武蔵町11-1 TEL 076-263-0221 FAX 076-233-2221 http://tajima-kinpaku.com/index.php
<b>老舗で蒔絵貼り付けも</b>	
<p>明治30(1897)年に創業した老舗で、皿などに金箔を貼り付けたり、蒔絵の体験もできます。金、銀箔と漆器類を合わせた工芸品の製造販売や、金箔打紙製法あぶらとり紙、金箔小物雑貨のオリジナル商品などの企画、製造、販売も行っています。</p>	
	
<p>☎40分 料12人まで 料5人まで1,000円、6人から12人まで1300円(会場の事前予約が必要) 料5人まで→1週間前までに電話申し込み 6人以上→2週間前までに電話申し込み 対象は中・高校生以上</p> <p>10:30～17:30 火曜日 無し 北陸鉄道バス「武蔵ヶ辻」下車、徒歩5分</p>	

	じゅんきんぱくせいぞうどころ はくざ <b>純金箔製造処 箔座本店</b>
金箔工芸 中心部 MAP P37 E-1	金沢市森山1丁目30-4 TEL 076-251-8941 FAX 076-252-7765 http://www.hakuza.co.jp/tourist/index.html
<b>黄金の茶室を常時公開</b>	
<p>豊臣秀吉の黄金の茶室をモデルに、最高級の純金箔約4万枚で仕上げられた黄金の茶室を常時公開。純金箔の仕上げの工程もご覧いただけます。純金銀箔の世界に触れる教室「箔座稽古処」では、ミニ色紙、箸、皿を使って箔押しが体験できます。</p>	
	
<p><b>【箔押し体験】</b> ☎約15～30分 料1度に12人。グループ内でメニューを統一してください 料600～1,200円 要予約</p> <p>無料(団体の場合は要連絡) 9:00～18:00(箔押し体験…箔座稽古処 10:30～16:00) 年中無休(箔押し体験…箔座稽古処 土・日曜・祝日休み) 普通車6台 金沢周遊バス「馬場児童公園」下車、徒歩2分 可(体験は不可)</p>	

	はくいちはくこうかん <b>箔一 箔巧館</b>
金箔工芸 西部 MAP P38 A-5	金沢市森戸2-1-1 TEL 076-240-8911 FAX 076-240-6800 http://www.hakuichi.co.jp/
<b>オリジナル箔工芸に挑戦</b>	
<p>金沢箔の歴史・文化から製造工程まで無料で見学できる工房をはじめ、自分だけの箔工芸品づくりにチャレンジできる「箔の稽古処」で金沢箔のすべてをご紹介します。自社工場直結のオリジナル金沢箔工芸品に触れて頂けるショールームとショップもあります。</p>	
	
<p>☎60～90分 料60人以下 料1,500～1,800円 3週間前までに電話・FAXで</p> <p>無料 9:00～18:00 1月1日 自家用車30台、大型バス6台収容可能 北陸自動車道 金沢西インターから5分(上り料金所まで1分) 可</p>	



☑体験・見学所要時間 ☑体験・見学可能人数  
 ☑体験料金 ☑お申込み方法  
 ☑入館料・入場料 ☑開館時間 ☑定休日  
 ☑駐車場 ☑交通アクセス ☑車イス対応 ☑備考



中心部 かがゆうぜんでんとうさんぎょうかいかん  
 MAP P37 E-3 **加賀友禅伝統産業会館**

金沢市小將町8-8  
 TEL 076-224-5511 FAX 076-224-5533  
<http://www.kagayuzen.or.jp/>

加賀友禅

## 友禅作家が彩色実演

金沢が誇る加賀友禅を紹介する施設です。館内には加賀友禅の着物はもちろん、工程を分かりやすく説明したパネルやビデオが展示され、加賀友禅作家の彩色工程見学を通して、楽しみながら加賀友禅の伝統や魅力をご理解いただけます。ハンカチの友禅染体験も手軽に楽しめます。



☑30分 ☑20人(1回あたり) ☑1,050~2,415円 ☑1週間前までに電話・FAX・メールにて ☑対象は小学生以上

☑大人300円 小・中生200円 ☑9:00~17:00  
 ☑水、年末年始 ☑10台(乗用車のみ) ☑北陸鉄道バス「兼六園下」下車、徒歩3分  
 ☑可(友禅染体験は可)



ながまちゆうぜんかん  
**長町友禅館**

加賀友禅 中心部  
 MAP P36 B-3  
 金沢市長町2-6-16  
 TEL 076-264-2811 FAX 076-221-7663  
<http://www.kagayuzen-club.co.jp/>

## 本友禅の彩色体験ができる

加賀友禅の工房。初級修了者は、中級の風呂敷・のれん・きものなどの彩色体験に進めます。街着体験(1日4,000円きもの貸出し)もあります。



☑2時間 ☑20人 ☑4,000円 ※入館料込 ☑要予約  
 ☑高校生以上

☑350円 ☑9:00~17:00 ☑なし ☑3~5台 ☑北陸鉄道バス「香林坊」下車、徒歩10分



くたにこうせんがま  
**九谷光仙窯**

九谷焼 中心部  
 MAP P36 B-5  
 金沢市野町5-3-3  
 TEL 076-241-0902 FAX 076-241-0954

## ロクロから絵付けまで

明治3(1870)年創業。金沢で唯一ロクロ成形から上絵付まで一貫した手作業による制作をしている窯元です。伝統九谷の展示や工房、窯など制作工程も紹介。自由に下絵の線描きをすれば、職人が本格的な彩色をして仕上げてお送りします。



☑1時間※見学時間含む(2交替の場合は75分) ☑30席×2交替で60人 ☑20種類1,050~5,250円(湯呑・コーヒー碗1,575円)送料別途 ☑電話・FAXで申し込み(席確保のため、早いほうが良い)

☑無料 ☑9:00~17:00 ※12/30~1/3 10:00~15:00(絵付は閉館40分前まで) ☑元日のみ ☑普通車10台 ☑北陸鉄道バス「野町駅」下車、徒歩1分、同野町から徒歩3分

 <b>体験</b>	とうぼうちょうじゅ
 <b>見学</b>	<b>陶房長寿</b>
<b>九谷焼</b> 中心部 MAP P36 C-3	金沢市香林坊2-4-5長寿ビル TEL 076-221-1822 FAX 076-261-3188 http://www.chojudo.com/

### 九谷焼の工房を公開

創業120年の歴史を持つ九谷焼の老舗「九谷焼長寿堂」が製造部門として併設した施設で、工房を自由に見学できます。絵付け体験は各種アイテムをそろえて行っています。



☑1時間 ☑最大50人(団体の場合予約必要) ☑1,050円～ ☑電話で確認ください ☑学生割引あり

☑無料 開10:00～19:00(体験受付17:00まで) ☑水  
☑3台 他 ☑北陸鉄道バス「香林坊」下車、徒歩2分 ☑可

 <b>体験</b>	つだみずひきおりかた
 <b>見学</b>	<b>津田水引折型</b>
<b>加賀水引細工</b> 中心部 MAP P37 F-5	金沢市石引2-2-5 TEL 076-224-9023 http://mizuhiki.jp/

### 華麗な細工の作業をつぶさに

「加賀金沢の水引」が全国に知れ渡ったのは、初代津田左右吉がそれまで平面的だった水引細工や折型を、現代の主流となる立体的な形に仕上げたことによります。金沢を代表する専門店で、華麗な水引細工の作業を見学することができます。



☑少人数

☑無料 開10:00～18:00(土曜は夕方まで) ☑日、祝日  
☑普通車2台 ☑北陸鉄道バス「大学病院前」下車、徒歩3分

 <b>体験</b>	こぼやしししゅうほ
 <b>見学</b>	<b>小林刺繍舗</b>
<b>加賀繻</b> 西部 MAP P38 B-5	金沢市東力1-130 TEL 076-291-5150 FAX 076-291-5198 http://www.kaganui.or.jp



### ひと針ひと針 伝統を継ぐ

加賀繻の精緻な技と、微妙な色合いの刺繍製品を作る、金沢市内でも数少ない店です。初代加賀藩主・前田利家の妻まつは刺繍が大変上手だったといわれており、伝統をひと針ひと針に受け継いでいます。小物への刺繍も体験できます。



☑1時間～ ☑8人まで ☑2,500円～ ☑当日の昼12時までに電話・FAXにて

☑無料 開9:00～17:00 ☑第1・3土、日、祝日は見学のみ  
☑2～3台 ☑JR金沢駅から車で15分、北陸鉄道バス「新神田」「東力」下車、徒歩2分、北陸自動車道・金沢西インターから車で7分

 <b>体験</b>	ぬいのいまい
 <b>見学</b>	<b>ぬいの今井</b>
<b>加賀繻</b> 中心部 MAP P36 D-5	金沢市菊川2-10-12 TEL 076-231-7271 FAX 076-231-7595

### 伝承者の技を間近に

着物や帯に華やかな表情を持たせる加賀繻。技術者による細やかで繊細な作業の様子や作品などを間近に見ることができます。加賀繻体験やミニ額制作もあります。



(写真は商品であり、体験作品ではありません)

☑2～3時間 ☑5～6人まで ☑1,000～1,500円  
☑1週間前までに電話・FAXで ☑中学生以上

☑無料 開10:00～17:00 ☑12月20日～1月7日(年末年始)  
☑2～3台 ☑ふらっとバス(菊川ルート)「片町」～「菊川公民館前」下車、徒歩1分



☑体験・見学所要時間 ☑体験・見学可能人数  
 ☑体験料金 ☑お申込み方法  
 ☑入館料・入場料 ☑開館時間 ☑定休日  
 ☑駐車場 ☑交通アクセス ☑車イス対応 ☑備考

体験 見学	めぼそはちろうべいしょうてん
	<b>目細八郎兵衛商店</b>
加賀毛針	金沢市安江町11-35
中心部	TEL 076-231-6371
MAP P36 C-1	http://www.meboso.co.jp/
<b>美しく繊細な加賀毛針</b>	
<p>天正3(1575)年に創業し、当時は加賀藩御用達の縫い針の店でした。鮎釣りに使う毛針はこの縫い針を曲げて考案されました。美しく繊細な加賀毛針の製作工程を見学できるほか、毛針を活用したアクセサリー作りもお勧めです。</p>	
<p>☑1時間程度 ☑5人まで ☑平均1,200円(作品により異なる) ☑2週間前までに電話にて ☑小学生以上</p> <p>☑無料 ☑9:00~18:00 ☑なし、ただし体験は土日休み    ☑4台 ☑JR金沢駅から徒歩13分</p>	

体験 見学	のさく
	<b>能作</b>
金沢漆器	金沢市広坂1-1-60
中心部	TEL 076-263-8121 FAX 076-263-8122
MAP P36 C-4	http://www.kanazawa.gr.jp/nosaku/txtcount.cgi
<b>漆器に囲まれ蒔絵体験</b>	
<p>日本三名園のひとつ「兼六園」と、繁華街片町・香林坊を結ぶ道筋にあります。安永9(1780)年に初代が仏具の飾り職人たちのために漆を商い始めました。金沢漆器や輪島塗、山中塗が並ぶ中で、盆を使った蒔絵の体験ができます。</p>	
<p>☑1時間半 ☑5人以下 ☑3,150円 ☑事前に電話にて予約が必要です。</p> <p>☑無料 ☑10:00~19:00 ☑水曜日 ☑なし ☑北陸鉄道バス「香林坊」下車 徒歩5分 ☑可</p>	

体験 見学	そうけいかいかん
	<b>宗桂会館</b>
加賀象嵌	金沢市北陽台3-1
北部	TEL 076-257-4277
MAP P38 B-1	http://www.soukeikai.or.jp
<b>加賀象嵌の世界に浸る</b>	
<p>日機装(株)金沢製作所の敷地内にある記念会館で、3代続いた名工山川孝次の加賀象嵌の作品や用具、工程解説を中心に展示するコーナーと、日機装(株)のハイテク技術が駆使された製品・システムを展示するコーナーとで構成。加賀象嵌を存分に満喫できます。</p>	
<p>☑無料 ☑10:00~16:00 ☑無休 ☑4台(その他、大型バス駐車スペース有) ☑JR金沢駅から車で20分、JR森本駅から車で5分 ☑可</p>	

体験 見学	ふくしまさんげんてん
	<b>福嶋三弦店</b>
三味線	金沢市東山1-1-8
東山・卯辰山方面	TEL 076-252-3703 FAX 076-252-3703
MAP P39 B-2	http://www.k2.dion.ne.jp/~sangen/
<b>北陸唯一の手作り三味線</b>	
<p>北陸で唯一三味線を手作りしている専門店。江戸後期からの技を受け継ぐ製作作業の見学はもちろん、三味線の演奏体験ではパチの持ち方から丁寧に指導しています。</p>	
<p>☑30分 ☑6人以下 ☑300円 ☑1カ月前までに電話、FAXで予約。(6人以下のグループで30分毎のタイムスケジュールを組んでください)</p> <p>☑10:00~16:00 ☑第2・4土、日、祝 ☑近隣に市営駐車場あり ☑北陸鉄道バス「橋場町」下車、徒歩1分</p>	

# 食文化を楽しむ



中心部 いしかわけんかんこうぶっさんかん  
**石川県観光物産館**

金沢市兼六町2-20  
 TEL 076-222-7788 FAX 076-222-5183  
<http://kanazawa.ftw.jp>

和菓子・ガラス職工

## 老舗の技と味を一堂に

石川県内地場産品の老舗・有名店が一堂に集う施設です。和菓子体験は職人の指導により自分で3種類の上生菓子作りに挑戦し、職人のお土産1個とで計4個持ち帰れます。金彩砂彫りガラス体験は、コップ、プレート、はんこ等に自分でデザインした文字や名前が彫れ彩色できる体験です。



### 【和菓子体験】

☎30~40分 円120人 円1,200円(小・中学の団体の場合1,000円体験設定あり) 土、日、祝日開催(団体での平日開催は要予約)

### 【ガラス体験】

☎40~60分 円30人 円1,000円と材料費・クリア版500円、はんこ800円など 土5人以上は要予約

☎無料 土10:00~18:00 日12~3月の火曜日 7台 北陸鉄道バス「兼六園下」下車、徒歩1分。北陸自動車道金沢森本インターから10分。同金沢東インター、金沢西インターからいずれも20分可



いしかわけんかしぶんかいかん  
**石川県菓子文化会館**

和菓子作り  
 中心部  
 MAP  
 P37 E-2

金沢市尾張町2-12-1  
 TEL 076-221-8366 FAX 076-221-8396  
<http://www.kashikaikan.or.jp/kashikaikan.html>

## 和菓子の歴史、文化を発信

藩政期からの伝統を誇る金沢の和菓子を発信。菓子木型や四季折々の味を展示、現代に至るまで市民の暮らしに深く根付いてきた和菓子の文化を紹介します。ねりきりあんを使った上生菓子作りを体験できます。



☎1時間 円20~100人 円700~1,200円 土2週間前までに電話

☎大人 250円 高校生以下無料 土9:30~15:00 水ほか なし 土ふらっとバス「彦三緑地」下車、徒歩3分 北陸鉄道バス「橋場町」下車、徒歩3分



たわらや  
**俵屋**

菓子作り  
 中心部  
 MAP  
 P37 E-1

金沢市小橋町2-4  
 TEL 076-252-2079 FAX 076-251-3525  
<http://www.ame-tawaraya.co.jp/>

## 藩政期から愛される「あめ」

170余年の伝統の味を守り、米と大麦だけでつくられた俵屋の「あめ」。市民に親しまれてきた昔からのみずあめである「じろあめ」を竹の箸を使って桶からすくい上げ、壺の容器に入れる作業を体験できるコーナーがあります。



☎15~20分 円5人以下 円1,500円 土1週間前までに電話で予約 土対象は中学生以上、体験 月~金 10:00~12:00/14:00~16:00

☎無料 土月~土9:00~18:00 日9:00~17:00 土年末年始 7台 土ふらっとバス「小橋」下車、徒歩1分



☑体験・見学所要時間 ㊦体験・見学可能人数  
 ☑体験料金 ㊧お申込み方法  
 ☑入館料・入場料 ㊨開館時間 ㊩定休日  
 ☑駐車場 ㊪交通アクセス ㊫車イス対応 ㊬備考



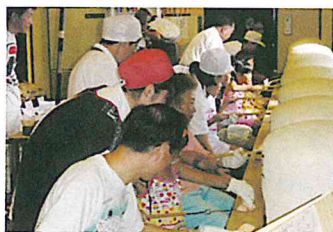
ほくりくせいかわ おかしどころかなざわ さいしゅう

## 北陸製菓 お菓子処金沢 彩匠

**菓子作り** 金沢市押野2-290-1  
**西部** TEL 076-243-7155 FAX 076-243-7155  
**MAP** http://hokka.jp/each/pages/saisyoh/saisyoh\_toha.html  
 P38 A-5

### せんべいの手焼き体験が人気

ガラス越しに製造工場を見学できます。また、気軽にせんべいの手焼き体験ができ、人気を集めています。



☑10~15分 ㊦20~30人 ㊮250円(税別) ㊨2週間前までに電話予約

☑無料 ㊨手焼き体験時間10:00~17:30 ㊩年末年始  
 ☑7台 ㊪JR西金沢駅から徒歩15分



かがたねしょくひんこうぎょう

## 加賀種食品工業

**行程見学** 金沢市春日町8-8  
**北部** TEL 076-252-2221 FAX 076-252-2151  
**MAP** http://www.kagadane.co.jp/  
 P38 A-2

### 菓子種製造120年の技術

もち米を原料とした菓子材料を作り続けて120年、金沢はもとより、全国の菓子店へ出荷しています。モナカの皮など菓子種の製造工程を間近でご覧いただけます。



☑40分 ㊦5人程度 ㊮無料 ㊨1カ月前までに電話・FAXで申し込み

☑無料 ㊨8:30~17:00 ㊩土・日・祝 ㊪5台 ㊫北陸鉄道バス「春日町」下車、徒歩1分



やまとしょうゆみそ

## ヤマト醤油味噌

**味噌汁作り** 金沢市大野町4-1170  
**大野・金石** TEL 076-268-1248 FAX 076-268-1242  
**MAP** http://www.yamato-soysauce-miso.co.jp/  
 P38 D-1

### 紀州伝来の技と味を守る

藩政期から350年、醤油の町として栄えてきた大野で、紀州から伝わった伝統の技法と味を守り続けてきた老舗。醤油と味噌について歴史や醸造法をビデオなどを使って分かりやすく説明します。味噌汁作り体験を通して理解と興味を一層深めます。



☑90分 ㊦15~20人 ㊮6,300円(1団体) ㊨事前に電話・FAXでお申し込みください。 ㊩大木桶味噌蔵見学と味噌作り体験ができます。水、土、日、祝日、第2・4火はお休み

㊨10:00~17:00 ㊩水、第2・4火 ㊪16台 ㊫北陸鉄道バス「大野港」下車、徒歩3分



なおげんしょうゆ

## 直源醤油

**工程見学** 金沢市大野町1-53  
**大野・金石** TEL 076-268-1113 FAX 076-267-4446  
**MAP** http://www.naogen.co.jp/  
 P38 D-2

### 醤油の町・大野を発信

醤油の製造工程を説明し、ボトリングラインを見学していただきます。原料の大豆や塩、麹菌の働きをはじめ、醤油を使用した調味料についても紹介しています。古い建物が残る大野の町並みも案内します。



☑30~60分 ㊦20人以下 ㊮無料 ㊨10日前までに電話・FAX・メールで予約をお願いします

☑無料 ㊨8:00~17:00 ㊩日曜、祝日、第2・4土曜日 ㊪普通車6台 ㊫北陸鉄道バス「大野中央」下車、徒歩1分

**体験** 体験受け入れ  
**見学** 見学受け入れ

☐体験・見学所要時間 ☑体験・見学可能人数  
☑体験料金 ☑お申込み方法  
☑入館料・入場料 ☑開館時間 ☑定休日  
☑駐車場 ☑交通アクセス ☑車イス対応 ☑備考

**体験** おうみちよういちば  
**見学** **近江町市場**  
市場見学 金沢市上近江町50  
中心部 TEL 076-231-1462 FAX 076-232-5502  
MAP http://ohmicho-ichiba.com/  
P36 D-2

**市民の暮らしを支える「台所」**

藩政期以来280年以上にわたり、金沢の食を支え続けてきた市民の台所「近江町市場」。新鮮な魚介類をはじめ、青果、干物から日用品、衣料品まで多様な店が約140店並びます。通路の両側から飛び交う威勢のいい掛け声も名物の一つです。



☑無料 開8:00頃～18:00頃(店舗による) ☑日・祝日、年始、お盆(店舗による) ☑普通車:近江町市場駐車場(有料)、バス:市営近江町バス駐車場利用(有料) ☑北陸鉄道バス「武蔵ヶ辻」下車、徒歩1分 ☑可

**体験** かなざわこういきいきうおいち  
**見学** **金沢港いきいき魚市**  
市場見学 金沢市無量寺町752  
大野・金石 TEL 076-266-1353 FAX 076-266-1352  
MAP http://www.ikiiki.or.jp/  
P38 D-2

**旬の魚がいっぱい**

金沢港で水揚げされたばかりの新鮮な魚介類が出迎えます。威勢のいい掛け声と旬の魚たちが、石川の自然の豊かさと食の楽しみを教えてください。



☑無料 開9:00～16:00 休水曜日及び1月1日～6日(ホームページをご確認ください) ☑100台 ☑北陸鉄道バス「金沢港いきいき魚市前」下車、すぐ ☑可

Column  
**和菓子**



金沢では、7月1日の「氷室の日」に無病息災を願って「氷室万頭」を食べる

金沢が全国に誇る和菓子文化は、藩政期から連綿と育まれてきました。藩が茶の湯を奨励したことにより、菓子の製造技術が高まり、多くの銘菓が生まれ、人々の暮らしに溶け込んでいったのです。銘菓の誉れ高いものの1つに、加賀落雁があります。干菓子の一種ですが、まさに職人の技がぎっしり詰め込まれたと言ってよい、歴史を感じさせる風雅な味わいがある名品として評価されています。

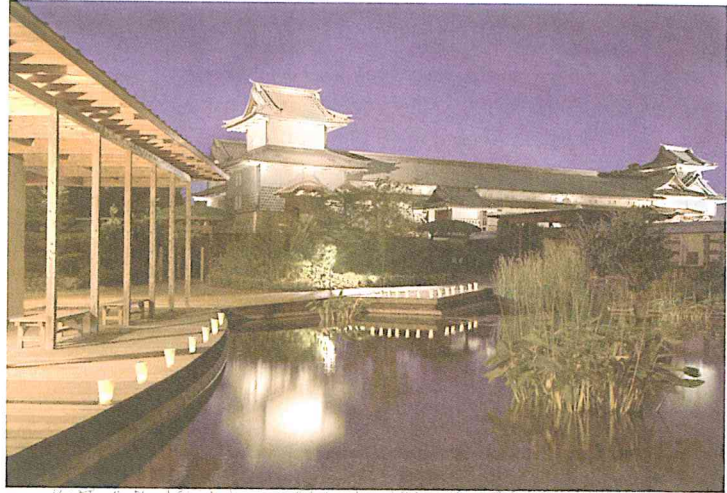
季節を愛でたり、暮らしの風習に添えたりする菓子が多いのも、文化の奥深さを、さりげなく話しかけていると言えます。正月には前田家の家紋「梅鉢」にちなんだ最中「福梅」や、おみくじ入りの「辻占」、愛らしい人形が入った「福德」など、個性的で遊び心あふれた菓子を味わうことができます。

出産の1カ月前の戌の日には安産を願う「ころころ餅」を配り、婚礼の際には日月山海里を表現した「五色生菓子」を重箱に詰めて親類に贈る習慣があります。「氷室の朔日」(7月1日)には、「氷室万頭」という麦饅頭を食べ、無病息災を祈る習わしもあります。

それぞれの菓子の由来を探ったり、街のあちこちにある茶房で茶の湯をたしなむのも、旅の興趣を豊かにしてくれるはずです。



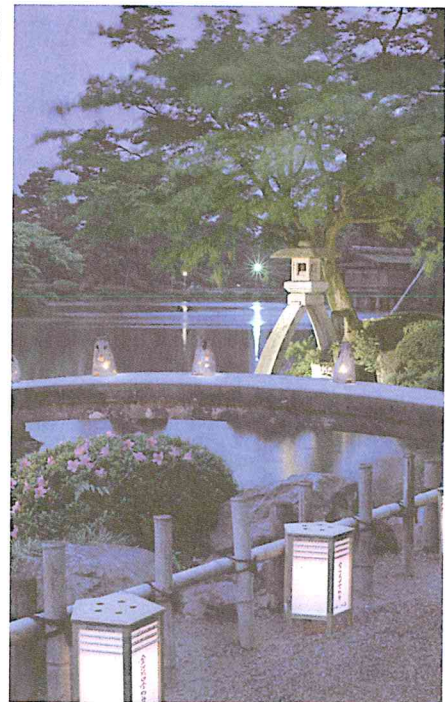
正月の縁起菓子「ふっとく」「ふっとこ」ともいわれる



金

Kanazawa

澤



# 歴史・文化・芸術に触れる



中心部  
MAP  
P36 D-4

かなざわにじゅういっせいきびじゅつかん

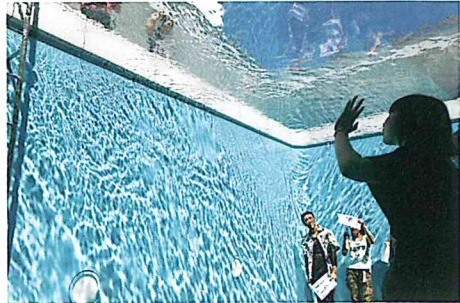
## 金沢21世紀美術館

金沢市広坂1-2-1  
TEL 076-220-2800 FAX 076-220-2802  
<http://www.kanazawa21.jp/ja/index.html>

現代美術

### 五感で鑑賞する美術作品群

ガラス張りのまるい美術館。「まちに開かれた公園のような美術館」をコンセプトに、誰もがいつでも立ち寄ることができ、さまざまな出会いの「場」となるような美術館を目指しています。館内は有料ゾーンと無料ゾーンに分かれており、無料ゾーンでは、建物と一体化した作品(コミッションワーク)があり、見て触れて、五感で鑑賞できます。



☎30分 ㊦10人 ㊧無料 ㊨1週間前までに「金沢21世紀美術館団体見学申込書」を提出してください

㊩無料(ただし、展覧会ゾーンの観覧には観覧料が必要です) ㊪無料ゾーン9:00~22:00 展覧会ゾーン10:00~18:00(金、土は20:00まで) ㊫無料ゾーン・年末年始 展覧会ゾーン・年末年始・月曜日(祝日の場合は翌日) ㊬330台 ㊭北陸鉄道バス「香林坊」下車、徒歩5分 ㊮可(体験は一部可)



中心部  
MAP  
P36 D-4

かなざわのうがくびじゅつかん

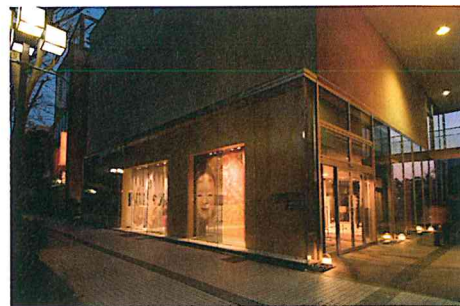
## 金沢能楽美術館

金沢市広坂1-2-25  
TEL 076-220-2790 FAX 076-220-2791  
<http://www.kanazawa-noh-museum.gr.jp>

能楽

### 「加賀宝生」伝承の拠点

金沢市の無形文化財に指定され、「加賀宝生」ともいわれる能楽宝生流に伝わる能面や装束を収蔵展示。貴重な美術品と伝統芸能を次世代へ伝える「能文化」の拠点を目指しています。館内では能面・小鼓・太鼓体験のほか、能装束の着用体験も状況により可能です。



☎1時間程度 ㊦要相談(30~50人単位) ㊧基本的に無料(要相談) ㊨1カ月前までに電話、FAXで(要相談)

㊩一般300円 高校生以下無料 ㊪10:00~18:00(入館は17:30まで) ㊫月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始 ㊬隣接「金沢21世紀美術館 市役所駐車場」330台 ㊭北陸鉄道バス「香林坊」下車、徒歩5分 ㊮可



☑体験・見学所要時間 ☑体験・見学可能人数  
 ☑体験料金 ☑お申込み方法  
 ☑入館料・入場料 ☑開館時間 ☑定休日  
 ☑駐車場 ☑交通アクセス ☑車イス対応 ☑備考



中心部 ながまちぶげやしききゅうけいかん  
 MAP P36 B-3 長町武家屋敷休憩館

金沢市長町2-4-36  
 TEL 076-263-1951 FAX 076-263-1951

街並み散策

### 武家屋敷のくつろぎ空間



長町武家屋敷界隈の景観にとけこみ、土堀で囲まれたくつろぎ空間。休憩室やトイレ、武家屋敷を紹介する展示コーナーがあり、気軽に立ち寄れます。観光ボランティアガイド「まいどさん」が常駐し、周辺を案内します。

☑約20分 ☑4~6人程度 ☑無料 ☑団体が周辺案内を希望する場合は、1週間前までに要予約(076-232-5555 金沢市観光協会まで)

☑無料 ☑9:00~17:00 ☑無休 ☑近隣に有料駐車場あり。長町観光駐車場 大型バス5台 普通車20台 ☑北陸鉄道バス「香林坊」下車、徒歩5分 ☑可



東山・卯辰山方面 ひがしちゃやきゅうけいかん  
 MAP P39 B-2 ひがし茶屋休憩館

金沢市東山1-5-14  
 TEL 076-253-0087 FAX 076-253-0087

街並み散策

### 金沢の町家を活用



江戸時代末期に建てられた金沢の町家を明治初期の状態に復元した施設です。金沢市指定文化財でもある貴重な建物で、観光ボランティアガイド「まいどさん」が常駐し、金沢の方言を交えて説明します。ひがし茶屋街など周辺も案内します。

☑10分 ☑20人程度 ☑無料 ☑団体が周辺案内を希望する場合は、1週間前までに要予約(076-232-5555 金沢市観光協会まで)

☑無料 ☑9:00~17:00 ☑無休 ☑なし(近隣に有料駐車場あり 東山観光バス駐車場:大型バス5台、東山観光駐車場:普通車15台、東山河畔観光駐車場:普通車14台) ☑城下まち金沢周遊バス「橋場町(交番前)」下車 徒歩3分



中心部 かなざわにしにちゃやしりょうかん  
 MAP P36 B-4 金沢市西茶屋資料館

金沢市野町2-25-18  
 TEL 076-247-8110 FAX 076-247-8110

街並み散策

### 茶屋の家屋の外観を再現



茶屋の家屋を再現した建物で、歴史と情緒が感じられます。にし茶屋街で幼少期を過ごした大正時代の人気作家・島田清次郎に関する資料も展示しています。観光ボランティアガイド「まいどさん」が常駐し、周辺を案内します。

☑約20分 ☑4~6人程度 ☑無料 ☑団体が周辺案内を希望する場合は、1週間前までに要予約(076-232-5555 金沢市観光協会まで)

☑無料 ☑9:30~17:00 ☑無休 ☑にし茶屋観光駐車場を利用(徒歩2分 バス2台、普通車8台:有料) ☑北陸鉄道バス「広小路」下車 徒歩3分